

平成22年度

「職場体験を中核としたキャリア教育に関わる本校の取組について」

札幌市立屯田北中学校

1. 育てようとする資質や能力及び態度

- ・社会人の働く姿に直接触れることにより、勤労の尊さや喜びを感じさせると共に、自己の生き方や進路について主体的に考えさせる一助とする。
- ・職業体験を通して、一般社会での礼儀やマナー、言葉遣いなどの社会性を率先して身につけようとする態度を養う。
- ・計画書づくりや活動のまとめなどの活動を通して、情報収集・プレゼンテーションの能力を身につけさせる。

2. 職場体験の内容

(1) 実施学年 第2学年(250名)

(2) 実施時期 平成22年11月25日(木)

(3) 具体的な内容

- ・「総合的な学習の時間」の取組として、「地域に生きる人から、生きること、働くことを学ぼう」というテーマで、屯田地区を中心に北区にある事業所や公共施設での職場体験を行う。
- ・事業所の受入人数を考慮し、生徒の希望を優先したグループ分けを行う。
- ・昨年訪問した事業所を中心に連絡をとり、生徒の興味関心がある事業も開拓し、47の事業所を決定。

3. 事前・当日・事後の指導計画

事前指導 7月 7日(水) 「働くということ」職業体験希望職種調べ

8月25日(水) ビデオ視聴・職業体験についてのオリエンテーション

9月 1日(水) 職業レディネステスト

9月 8日(水) 職業レディネステストの分析・職業体験場所の選択(希望調査)
講演会に向けての準備(質問を考える)

9月14日(火) 講演会「働くこととは」

10月 6日(水) 職業体験場所決定「私の履歴書」作成
グループ別ミーティング 計画書作成①

10月 8日(金) 「私の履歴書」清書

10月14日(木) グループ別 計画書作成②

10月15日(金) グループ別 計画書作成③

10月20日(水) グループ別 計画書完成・アポイントメントの取り方①

10月27日(水) グループ別 アポイントメントの取り方②・質問を考える①

11月 2日(火) グループ別 質問を考える②・模擬職業体験①

11月10日(水) グループ別 模擬職業体験②

11月16日(火) 礼儀・マナーについて

11月24日(水) グループ別 最終確認・職業体験前日集会

当日 11月25日(木) **職業体験当日** 聞きとり調査及び体験

体験終了後、学校に帰着報告をし、まとめをしてから下校

事後指導 11月26日(金) 礼状作成 まとめ①

12月 8日(水) まとめ②③

4. 指導方法や指導体制について

- ・ 学年の総合担当者が、計画をたて、指導プリントなどを作成する。
- ・ 各事業所の担当者を決め、連絡から生徒の指導まで行う。
- ・ 事前学習については、担任中心におこない履歴書書きまで学級単位で活動する。
- ・ 当日は、各事業所の担当者が巡視を行う。学校には本部をおき、緊急時の対応と帰着報告をうける。

5. 成果と課題

(1) 今年度の成果

- ・ 地域の事業所を中心の職場体験を実施することで、本校生徒の様子を地域の方々に知っていただく良い機会となった。
- ・ 将来自分がつく職業のイメージができ、働くことの意義を考える良い機会となった。また、働く人の気持ちを知ることができ、今までの自分の考えとの違いを知る機会にもなった。さらに、あいさつや返事など、社会生活上のルールやマナーの大切さを学ぶことができた。
- ・ 事前学習で行った、職業レディネステストや講演会は自分を知る上で有効であった。
- ・ 履歴書や依頼状・お礼の文章など、社会にでるために必要な文の書き方を知ることができた。丁寧に字を書くことについても同様である。

(2) 来年度に向けての課題

- ・ 事前指導の充実。特に、言葉遣いやあいさつなど、マナーに関する指導がさらに必要である。
- ・ 事業所の確保。住宅地が多く、事業所が少ないという現状があるが、地域の方々に生徒を知ってもらう機会をとらえ、できるだけ校区内又は校区に隣接する事業所を確保していくことが大切であると考えている。
- ・ 日程調整。校区の事業所をできるだけ確保するためにも、他校と重ならない日程を組む必要がある。今年度は、実施日が重なっているため、受入出来ない事業所がいくつかあった。近隣の学校と連絡を取り合い進めていく必要がある。
- ・ 事業所の担当者振り分け。一人の先生に負担がかからないような振り分けが必要である。